

1. 次の 2 重積分を計算せよ.

$$(1) \iint_{\Omega} \frac{r}{\sqrt{1-r^2}} dr d\theta, \quad \Omega = \left\{ (r, \theta) \mid 0 \leq \theta \leq \frac{\pi}{2}, 0 \leq r \leq \cos \theta \right\}$$

$$(2) \iint_D \frac{1}{\sqrt{1-x^2-y^2}} dx dy, \quad D = \{ (x, y) \mid x^2 + y^2 \leq x \}$$

2. 次の設問に答えよ.

(1)  $x(t) = Ate^{-t}$  が微分方程式  $\frac{d^2x(t)}{dt^2} - \frac{dx(t)}{dt} - 2x(t) = e^{-t}$  の解となるように定数  $A$  を定めよ.

(2) 微分方程式  $\frac{d^2x(t)}{dt^2} - \frac{dx(t)}{dt} - 2x(t) = e^{-t}$  の一般解を求めよ.

3.  $a, b, c, d$  を定数とするとき, 行列  $A = \begin{pmatrix} a & c & d \\ 0 & a & c \\ 0 & 0 & b \end{pmatrix}$  の固有値とその重複度を,  $a = b$  のときと  $a \neq b$  のときに場合分けして求めよ. また, 重複度が 2 以上の固有値に対応する固有空間の次元を求めよ.  $A$  が対角化可能, つまり, 3 次正則行列  $P$  が存在して,  $P^{-1}AP$  が対角行列になるのはどのような場合か.

4. 7 元体  $F_7 = \{0, 1, 2, 3, 4, 5, 6\}$  および多項式  $f(x) = x^2 + 5x + 3 \in F_7[x]$  について、以下の設問に答えよ.

(1)  $f(x)$  は  $F_7[x]$  において既約であることを示せ.

(2) 49 元体  $F_{49} = F_7[x]/(f(x))$  において、 $\alpha \in F_{49}$  を  $f(\alpha) = 0$  を満たす元とすると、 $\frac{5}{\alpha + 3}$  を  $\alpha$  の 1 次式で表せ.

(3) 問 (2) の  $\alpha$  の位数を求めよ. ただし、 $\alpha$  の位数とは、 $\alpha^k = 1$  を満たす最小の正整数  $k$  のことである.